7. まとめと今後の課題

本稿では,ある目的を達成するための方法を検索すると

いうタスク検索を提案した.また,より多くのタスクを含

んだウェブページを収集するために,検索連動型広告を利

用したクエリ拡張手法を提案し,予備実験を行った.

今後タスク検索に関する研究を進めていくにあたり,さ まざまな事柄について考えていく必要がある.今回提案し た手法はウェブページを取得する手法であり,得られた ウェブページがどのようなタスクを含んでいるかは人手で 判断し評価を行った.今後は,単にウェブページを抽出す るだけではなく,そこからどのようなタスクが存在するの かを言語パターンなどを用いて抽出してくることが必要に なると考えられる.また,評価方法についても考案の余地 がある必要がある.6 章で述べたように,今回の評価尺度 は順序関係を持ったタスクを正しく評価することができな い.また,得られたタスク集合の多様性も評価において重 要な観点であると考えられる.こうしたことを考慮した, タスク検索における統一的な評価尺度を考えることも今後 の課題である.

謝辞 本研究の一部は,文部科学省科学研究費補助金 (課題番号 24240013,24680008)によるものです.ここに

記して謝意を表します.